

## 統合型校務支援システムの更改に係る調達仕様書

本仕様書は、常総市立小中学校 I C T 環境更新事業における統合型校務支援システムの更改（以下「本業務」という。）について、基本的な考え方を示したものである。

したがって、本仕様書に明記していない事項でも、本業務の目的を達成するために、効果的な取り組みと認められるものは、上限額の範囲内で追加提案することも可能である。

### 1. 本業務の概要について

#### （1）業務名

常総市立小中学校 I C T 環境更新事業における統合型校務支援システムの更改

#### （2）業務目的

本市では、閉域環境において統合型校務支援システムを利用しているが、本市では新しくゼロトラストネットワーク環境を構築した上で、セキュリティを担保した上で児童生徒の基本情報、出欠情報、成績情報及び保健情報等の9年間を通じた記録を一元管理及び蓄積出来る統合型校務支援システムを導入する。

また、次期統合型校務支援システムでは、クラウドサービスの利用を前提とし、教育ダッシュボード機能の搭載やロケーションフリー化を通じて、効率的・効果的な学校運営を行うための環境を整備し教育水準の向上等を図る。

#### （3）業務概要

下記環境を構築するとともに、運用保守を実施すること。

※運用保守内容については、「導入支援・運用支援・保守支援に係る調達仕様書」に記載のとおり。

- ①統合型校務支援システム
- ②保護者連絡ツール
- ③学校コンテンツマネジメントシステム

### 2. 本業務の実施要件について

#### （1）統合型校務支援システムの導入

##### ①基本要件

以下の要件を満たすこと。

- ・ブラウザアクセス型のW E B アプリケーションであること。
- ・システムをクライアント端末上で動作させるにあたって、端末へのシステム（ソフトウェ

ア) 自体のインストール及びプラグイン等の追加インストール、各種の制御モジュール等の適用作業が一切不要であること。

- ・本市側で外字ファイルを用意せず、事業者側で市内共通で利用可能な外字ファイルを提供可能であること。また、不足する字体がある場合には、学校や教育委員会で外字を作成する必要が一切ないこと。
- ・2学期制、3学期制に対応していること。なお、混在していても対応可能であること。
- ・学校の統廃合に対応できること。

## ②機能要件

以下の機能を有していること。なお、有していない機能がある場合は、代替案を提案すること。

教務支援機能	
1	学籍管理
2	出欠管理
3	成績処理
4	通知表
5	調査書
6	進路管理
7	指導要録
8	週案／時数管理
9	学級日誌
保健機能等	
1	保健日誌
2	保健室来室管理
3	健康診断
4	健康観察／健康相談
5	アレルギー
6	体力テスト
ダッシュボード機能	
1	校務ダッシュボード
ユーザー管理機能	
1	ユーザー管理

グループウェア機能	
1	スケジュール／行事予定
2	掲示板
3	アンケート
4	会議室／施設予約／備品予約
5	コミュニケーションツール
6	ライブラリ（電子書庫）
事務支援	
1	勤怠管理
2	文書管理
3	学校徴収金管理

### ③帳票要件

- ・導入業務の効率化及びコスト削減のため、帳票については、原則として可能な限りシステムが標準的に搭載している帳票様式を利用する前提と考えている。ただし、運用上の支障が生じる可能性がある場合には、カスタマイズを行うこと。
- ・法令等の改正により、帳票様式の見直し等が必要な場合は、校務に支障が出ないよう、法令等の改正が判明した時点から早期に対応すること。
- ・カスタマイズについては、運用上支障が生じないよう、運用開始時前に出来る限り対応すること。

（参考：茨城県統一様式）

機能名	
1	小学校児童指導要録（学籍）
2	小学校児童指導要録（指導）
3	中学校生徒指導要録（学籍）
4	小学校児童指導要録（指導）
5	入学志願者調査書（中学受験）
6	成績及び諸活動等の記録通知書（中学受験）
7	入学志願者調査書（高校受験）
8	成績及び諸活動等の記録通知書（高校受験）

### ④通知表

- ・通知表は、本市と協議の上、必要なパターン数を作成して納品すること。

- ・通知表は、各校の独自性を尊重し、納品後に学校ごとで個別カスタマイズが可能なしきみであること。
- ・法令等の改正により、やむを得ず基本パターンの再カスタマイズの必要が生じた場合は、校務に支障が出ないよう、法令等の改正が判明した時点から早期に対応すること。

#### ⑤その他

- ・一般財団法人全国地域情報化推進協会（APPLIC）の「教育情報アプリケーションユニット標準仕様」の準拠登録製品であること。

### （2）保護者連絡ツールの導入

- ・学校から保護者への連絡配信や、保護者から学校への欠席連絡などを効率化するためのスマートフォンアプリを導入すること。なお、保護者等から送られた欠席連絡は、統合型校務支援システムとデータ連携し、欠席情報が統合型校務支援システムに自動的に反映できる仕組みを有すこと。
- ・教職員と保護者のコミュニケーションを円滑にし、教職員の電話対応の削減や情報伝達の確実性を高めることで、双方の負担軽減と情報共有の効率化を実現できる機能があること。
- ・学校集金をキャッシュレスで安全・効率的に実現できる機能を有しており、統合型校務支援システムに自動的に反映できる仕組みがあることが望ましい。

### （3）学校コンテンツマネジメントシステムの導入

- ・各校管理が可能な学校専用ホームページ管理システムを導入すること。
- ・保護者限定のページを作成出来るなど、保護者及び児童生徒が安全・安心なサイトであること。
- ・Webサイトの作成・編集・公開を専門知識なしで効率的に行うためのサービスを導入すること。